



TOP MESSAGE

2026年度が始まりました！

サッカーワールドカップ開幕を間近に控え代表メンバーも発表になりました。残念だったのは本大会の主役の一人になり得たはずの三笥選手がハムストリングの怪我でメンバーに選出されなかったことです。彼は28歳でキャリアの全盛期にいます。先のイングランド代表との親善試合でも素晴らしいプレーを見せ、対イングランド代表初勝利に貢献してくれたことが記憶に新しいです。サッカーに限らずスポーツには怪我はつきものとは言え、彼の心情を慮ると言葉もないです。それも人生ということなのでしょう。

さて最近またAIの進歩とそのユーザーが増加し続けていることをニュースやSNS等で実感します。加速度がついて来ているようですね。ゲームチェンジは既に起こっています。それに気づかずに周りの人々と同じように日々を過ごしていればいいと思っていると知らぬ間に周回遅れということになりそうです。私の家の近くにもいくつかの有名な学習塾があります。そこに通う子供たちの姿も多く目にします。周囲の同調圧力もあるでしょうが、彼らがこれから2年、3年と学習塾で学ぶことに本当に意味があるのでしょうか。明治維新直後に時代の変化に追いつけず、武芸の道を突き進んでいる武士を思い起こさせます。もはやいい学校に行き、いい会社に入って、そこで出世することを目指すことは意味を成しません。学校でさえ通う意味があるのかと考える人が増えていることもうなずけます。ですから通信制の学校で自分のペースで学ぶ人が多くなってきているのも偶然ではないですね。これからはますます何をいつ学ぶかを自らが選択する時代になって行くのだと思います。最も頭脳が柔軟な時に学ぶことの質の違いが今の子供たちの人生を左右してしまうと思うと私たちの責任は大きいと感じます。

AIの時代は言葉の人の時代であると言ったピーター・ティールのことは以前書きました。私も遅ればせながらAIを使い始めたのですが、いざAIと向き合ってみるとこの言葉の意味がよく分かります。話す力、文章を書く力はすごく重要です。

今年度から3年生、4年生を対象にディベートの授業を始めました。私が直接教えています。少しだけ自慢をします。私は新卒でJR東日本の一期生として同社に入社しました。入社直後の新人研修の際に開催された、同期社員全員参加のディベート大会で私は優勝しました。2人一組で行われ、私のパートナーは現在のJR東日本代表取締役の喜勢さんでした。彼の論陣は非常に切れ味鋭くて随分助けられたことを覚えています。彼のおかげで優勝できたとも言えますが。

ディベートは話す力、聞く力を育てると同時に想像力、客観的視点なども鍛えてくれます。ディベートの授業を始めるに際して子供たちが興味を持ってくれるか否か不安がありましたが、予想外に食いつきがよく安心しました。私としては地政学の授業をもっと行いたいという気持ちもありますが、子供たちの様子を見てみると今はディベートを優先しようと思います。

ディベートの授業を通じて子供たちに身につけて欲しいことが大きく3つあります。1つ目は論理的な思考を行う習慣を身につけることです。自分の意見に「なぜなら～」と客観的な根拠に基づいた説明ができるようになって欲しいです。ディベートでは本来自分が主張したいと考えていることの反対の側に立って主張を繰り広げていかなければならない時があります。この機会は物事を多角的に見る能力を育てます。

2つ目はコミュニケーションと対話力の強化です。的確な反論をするためには、まず相手の主張や論理の矛盾点を正確に聞かねばならないため聞く力が向上します。さらに判定者等の第三者に理解してもらえるように分かりやすい言葉を選んで話す力が磨かれます。

3つ目は社会性や情緒の成長です。社会には自分と異なる意見が存在することを実感し「意見の対立」と「人格の否定」を切り離して捉えられるようになり、結果として多様性を受け入れることができるようになります。またチームで立論や反対意見の戦略を組み立てるため仲間と協力して成果物をつくる「チーム力」が育ちます。さらにゲーム形式であることから普段は発言の控え目な児童でも意見を表明しやすくなります。

ディベートの授業を通じて上記のことを身につけて欲しいということはもちろんのこと自分の意見を相手に分かってもらうために、感情的にならず冷静であることが大切であること、相手を論破するために豊富な語彙力が必要であることに気づき、語彙力を身につけるために読書をする習慣をつけて欲しいと願っています。

ゲームチェンジは既に起こっています。それは明治維新以上の変革である可能性が高いです。同調圧力に屈し、周りの皆がそうしているからとか子供に選択肢を与えたいからという理由で受験戦争の中に入っていくことが本当に大きな変革期を迎えた社会を生き抜く術を身につけることになるのか保護者の皆さんには是非熟慮していただきたいです。

「蟻を高いところから落とすとどうなりますか。」「あなたは利口ですか。」「クールとはどういう意味ですか。」等、米英の大学入試では既に出題されているような問題に的確にそして興味深い洞察だと出題作成者や採点者に思ってもらえるような解答にたどり着く力をバディグローバルスクールに通う児童には身につけて欲しいですし、そのサポートをしていきたいと強く思います。

今回はこれで終わりにします。

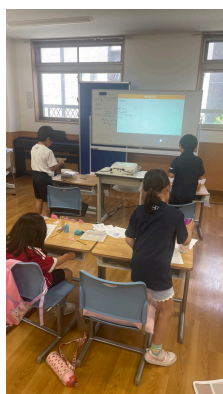
SCHEDULE

【世田谷校】6月の主な予定

○6月1日(月)	金融
○6月6日(土)	販売実習
○6月8日(月)	農業実習
○6月15日(月)	金融

【有明校】6月の主な予定

○6月6日(土)	販売実習
○6月8日(月)	金融
○6月15日(月)	農業実習
○6月22日(月)	金融



@BUDDY.GLOBAL.SCHOOL

随時、見学・体験を受け付けて
おります。
お気軽にお問い合わせ下さい
TEL:03-5942-1830



バディグローバルスクールHP